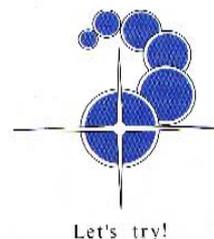


6 学年進路だより第 3 号

令和 2 年 5 月 1 4 日 (木)



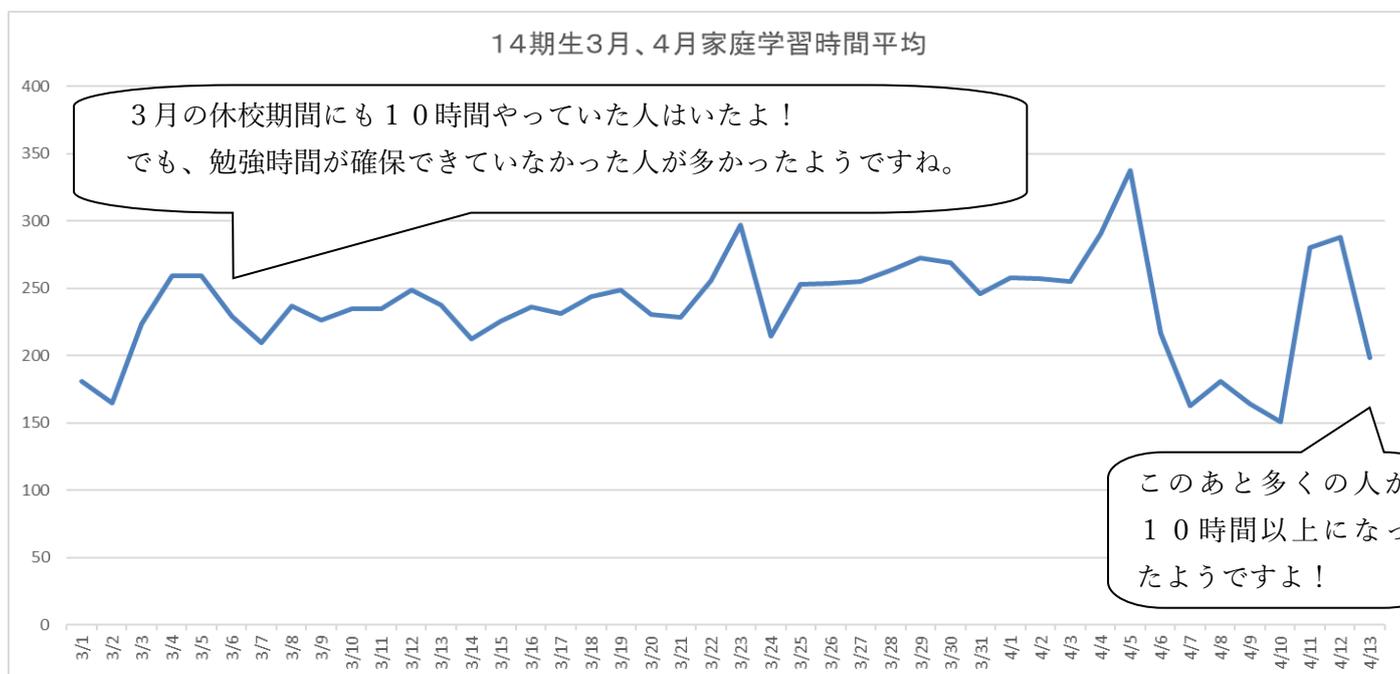
前回の全統マーク模試は自宅受験でした。集中して受験できましたか。1 回の模試に対して真剣に取り組むことは、学力の向上につながります。模試までの勉強、模試の受験、模試受験後の復習を真剣に取り組み、学力をどんどん向上させてください。得点率が 70% に届いていない教科は、とことん復習し、1 ヶ月後にもう一度模試を解き直してみるというのもお勧めの方法です。

センター試験から、大学入学共通テストに変わり、問題の傾向が変わります。マーク模試の問題は大学入学共通テストを意識して作られているので、マーク模試を解けるようにすると大学入学共通テストも解ける可能性が高まります。今後のマーク模試は 5 月進研マーク、8 月全統マーク、9 月ベネッセ駿台マーク、10 月全統マーク、10 月ベネッセ駿台マーク、11 月全統共通プレテスト、12 月駿台共通プレテストとなっています。これらの模試やプレテストの得点率を上げ、1 月に行われる大学入学共通テストで良い結果が出せるようにしましょう。

3 月の休校期間中の家庭学習の時間が少ないのではないかと不安になっていましたが、担任の先生方との電話面談で「1 日に 10 時間以上勉強しているという人が多くいた。」と聞き、これなら全国の受験生とも戦えるかもしれないと、皆さんに期待しています。正の方向の継続は力になります。これからも気を抜かず頑張ってください。

今回の 6 学年進路だより第 3 号では卒業生の受験体験から皆さんへのアドバイスを掲載しました。すべてが当てはまるものではありませんが、勉強の参考にしてください。

進路指導部 増井



6 学年 4 月から 7 月の時期

- ・まだ受験が遠く感じる人もいるでしょうが、よほど頑張らない限りこの時期から成績が上がることはまずありません。何とかなると思っていると、どうにもならなくなってしまう。緊張感をもって頑張ってください。
- ・基礎を復習、目標の 8 割を目指す。センターを意識して基礎的な内容の問題演習に取り組む。
- ・勉強法としてはありとあらゆるものを試した。自分は飽き性であったので、1 個の勉強法では 1 週間学習するのがやっとだった。自分で面白そうな勉強法を考えて実践していた。
- ・現役生はとにかく時間がないので、6 年生で習った内容をその都度完成させるつもりで勉強して欲しいです。
- ・特に、物理、化学、数学でだが自分の持つ問題集の問題を解いて、解けたかどうかを○△×を使って表すことで自分のできなかった問題がどれなのか分かりやすくなる。

夏季休業中（8 月）

- ・学習合宿は「みんなで一緒にがんばってるんだ」というのが実感できました。おかげで、自分でも驚くくらいの量を勉強できました。しかし、合宿後がつかれたです。合宿みたいな時間割はないし、モチベーションの維持も難しかったです。しかし、夏休み前に決めたノルマはこなしましたし、宿題も毎日 3～4 ページずつくらいでやると無理なく終わりました。この毎日勉強する習慣が後になって活きるのです。
- ・学習合宿の自習の時間では、数学のセンター問題集や古文の問題集をやった。合宿後はセミナー化学を中心にやったが、絶対量が不足していると感じていた。
- ・夏休みは学習合宿でペースをつかみ、合宿後は毎日、10～13 時間勉強した。夏休みのクライマックスは、東大模試だった。さっぱりわからずに落ち込んだ。
- ・家だとだらだらしてしまうので、図書館に行きました。勉強内容は予習や復習など講習に沿ったものを行いました。
- ・学習合宿で 1 日 10 時間の学習を経験したが、家に帰って実行しようとするのが難しかった。続けられるように努力したが、気持ちばかり焦り、実際に 10 時間以上勉強するのは難しかった。夏休みにどれだけ集中できるかが受験の一つの鍵。
- ・午前中は学校の講習、午後は図書館の繰り返しの毎日でした。夏休みの遊びたいという誘惑に対し、我慢し、けじめをつける毎日でした。
- ・暗記がすんだので、数ⅢC や理科を繰り返しやりました。センターの模試が始まっていましたが、記述を中心にやりました。特に英語は一日一回長文の演習をして、寝る前に単語帳をしました。
- ・休日は図書館に通いました。クーラーも効いているし、快適です。閉館までずっと学習しました。ポイントは帰宅後です。図書館でいっぱいやったからと少し休もうと思っただけです。周りが遊んでいても、頑張ってお勉強してください。夏休みも宿題が出ますが、早めに終わらせましょう。私は残りの数日間で苦手科目を集中的に学習しました。
- ・大学別模試に向けて、数学・物理・化学は実戦的な問題に取り組んだ。苦手だった国語、地理は引き続き基礎固め。英語はセンターの実戦問題に取り組んで、単語・文法を固めた。
- ・じっくり問題に取り組める大事な時期なので、記述力育成に力を入れました。適度に息抜きをしながらの方が良かったかなと思いました。センター試験の世界史対策を夏休みから始めました。
- ・宿題を終わらせて、苦手な地理と化学を集中的にやった。全ての教科でほとんど基礎的なことをしていた。暑かったから家でほとんど学習したが、図書館でやれば良かったと思った。家だと休憩時間がどうしても多くなる。
- ・夏休みは気持ちを入れ替えて、今までより勉強しようと思いました。しかし、強い気持ちを持続させるのは困難でした。図書館で頑張っても、家では気が抜けてしまい、本当に集中できたのは 8 時間位だったのでしょうか。10 時間以上の集中は大変だった気がします。
- ・夏休みは集中して学習しました。模試も多いし、大半が登校日なのでリズムの崩れはありませんでした。宿題を中心にやり、化学の有機のまとめを一生懸命にやりました。東大実戦の化学で 0 点をとって落ち込んだのはこの時期。
- ・毎日早く起きて、午前中でかなりこなしたので、1 日の学習量を増やすことができました。夏は体調を崩しやすく、夏バテ気味になるなど、体調管理に苦労しました。